

還暦記念にホノルルマラソンで完走して！

29期 竹本治男（大鶴）

今年で73歳になりました。元気で書道人生を送っています。北野定時制時代、夜9時の授業が終わると外灯で照らされているグラウンドを横目で見ながら門限に遅れまいと一路、阪急十三駅そして勤務先の伊丹市昆陽池の住友電気工業（株）の男子寮へ…いつもグラウンドには1・2年生担任であった北條憲明先生が立っておられ、私たち下校生を温かく送っていただきました。



同級生の荒井（旧姓奥田）訓子さんや石賀（旧姓盛岡）栄子さん達は練習をしておられたんでしょうね。寄贈されたメダルの数々や賞状を「北辰記念室」で拝見し、昨日のごとく懐かしく思い出しています。

振り返れば私は18年前（55歳）、腰痛持ちのため身体を鍛えようと遊び半分で近くのスポーツジムをおとすれました。トレッドミル（ランニングマシン）で歩いたり走ったり…10分も走るとハア、ハアと息が切れて歩きの連続…隣で走っている人がニヤニヤしながら笑っていました。その人が走る師匠になってくれた山下さん（60歳）でした。週に2～3回のジム通いでしたがその師匠が私を子供のように「今日は2キロ走ろう。」「明日は外で走ろう。」と教え導いてくれました。数年がたち、走る仲間も増えてきました。「今日は北へ10キロ、明日は南へ20キロ」…少しは体力が付いてきたとはいえさすがに夜になるとクタクタ…書道活動や作品づくりもおろそかにできず…日々の時間をより大切にするようになっていました。

「来年、私、還暦でハワイに行ってホノルルマラソンを走りたいんやけど！！」と冗談を言ったら仲間が「よし！いこうや！！」と決定。「うわー！えらいことになったぞ！！」

目標ができると気持ちの入れ方と練習方法・練習量が増してきました。月間200～250キロ走る時もありました。

2007年12月9日、4泊5日のハワイマラソンツアーに先輩達4名とホノルルマラソンに参加しました。

当日朝5時スタートのため宿泊したホテルを3時に出発。経験のない私にとっては恐ろしい日のはじまりです。2万7千人のランナーたちの熱気がまさに最高潮に到達しようかというスタート10分前、突然、大粒の雨。激しいスコールの中、花火の合図で嵐の幕開けです。

ダウンタウンのイルミネーション→10km当たりのワイキキ中心のカラカウア通りを過ぎると大便がしたくなりトイレ探して大変→24kmのハワイカイ辺りでは苦しい苦しいの連発、もうあかん…足の爪先が痛い。足が動かんぞ。…止まってはストレッチ…皆も苦しそう。35kmのカハラ→40km付近のダイヤモンドヘッド→カピオラニ公園のFINISH。ゴール前、有森裕子さんが「もうちょっとよ！もうちょっとよ！」と声援をおくってくれました。ゴール！いやー「万歳！万歳！！ああ…疲れた」初マラソンで完走！万歳！！タイムは5時間15分29秒。「やった！やった！！」感激！感動の一瞬！！

走行中、路上で応援していただいた皆さん、先輩！走行中の皆さん！ありがとうございます

います！！よちよち歩きでホテルに到着。バターン！！！（地獄と極楽を味わった1日でした）

その後、2年後の2009年11月 第19回福知山マラソン（62歳）

2010年12月 第1回奈良マラソン（63歳）に出場し完走しました。

「フルマラソン（42.195キロ）を完走すると人生が変わるよ！」と言われてますがまさにその通りだと痛感しました。青春時代、「好きなこと・自分にできること・人に喜んでもらえること」をモットーに書道人生を送ってきました。目標であった「日展」には落選・落選の連続…

この3回のフルマラソンで体験した「あきらめたらあかん！負けたらあかん！」「もうちょっとよ！もうちょっとよ！」を書道人生に生かしたいと基本に戻り切磋琢磨努力してきました。嬉しいことに目標であった（2011年）第43回日展に初入選（64歳）。その後、8年連続入選させていただき今年4月に「日展会友」に推挙させていただき不安とプレッシャーの中、日々を送っています。この還暦記念にホノルルマラソンに初挑戦して完走したことが途方もない大きな大きな人生の夢の扉を開いていただいたと痛感しています。もっと若かったらなあ！とは思いますが、有名な哲学者、鈴木大拙先生が90歳になられたおり、ご自宅の130段の階段を上がって帰宅される時、ある人が「大変でしょうと聞かれると1歩1歩上がれば何でもないぞ。1歩1歩努力すれば、いつの間にか高いところでも上がっている」の素晴らしい言葉を胸に刻み努力を積み重ね精進する覚悟です。

（参考）走行写真はスポーツ・マガジン ランナーズ（2008年3月号）から引用

2020（令和2年）7月22日記



一緒に走った先輩達
(右より2人目(黒いユニフォームの方)が走る師匠の山下さん)

走っている私



上：サーファーたちが自転車からランナーを応援
 下：40km地点を過ぎると後は下り。2.195kmはピクトリーロード
 左：7時間のランナーがゴールするころにはすっかり青空

40km 地点 偶然にも雑誌ランナーズ 2008年3月号に私が頑張っている姿が写っていました。



ホノルルマラソン完走証 (頑張った証)



第19回
福知山マラソン
第10回全日本盲人マラソン選手権

記録証

マラソン男子

ナンバー **17833**

氏名 **竹本 治男**

タイム **4時間59分31秒**

(ネットタイム **4時間51分06秒**)

順位 **6220位**

ネットタイムはあなたがスタートラインを越えてからの記録です。

2009年11月23日
第19回福知山マラソンのあなたの個人記録速報です。
※記録・順位は速報です

福知山マラソン記録証

nara marathon 2010 nara marathon 2010 nara marathon 2010

nara marathon 2010

完走証

ナンバー: 7607 竹本 治男 様

記録: 4時間55分41秒

ネットタイム: 4時間49分34秒

総合順位: フルマラソン男子総合
5125 位

年代別: フルマラソン男子60歳代
384 位

10km地点: 1時間07分26秒

20km地点: 2時間10分15秒

30km地点: 3時間19分52秒

あなたは、平城遷都1300年記念『奈良マラソン2010』
に於いて、表記の記録で完走されたことを証します。

平成22年12月5日

奈良マラソン2010
大会会長 荒井 正吾

nara marathon 2010 nara marathon 2010 nara marathon 2010

奈良マラソン完走証